

12月、師走です。

毎年書いていますが、学校は、今は年がら年中師走状態なので、12月になったからどうこうということはないかもしれません。それでも、三学期制の学校では期末考査があり、成績処理があります。受験学年だとそれに調査書の作成も加わり、やはり特別な月といえるでしょう。月末には、短いとはいえ冬休みがやってきます。それまで走れ走れ先生たちよ、ということになります。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【 1 】 最新活動報告

11月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

冬の経済教室の案内、部会の案内を紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

11月に行われた活動を報告します。

■ 東京部会を開催しました。

日時：2015年11月26日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 本館2階中会議室

内容の概略：参加15名。

- (1) 年次大会の内容構成を検討しました。
- (2) 冬の教室の準備状況・申し込み状況を確認しました。
- (3) 部会報告などがありました。12月の名古屋部会に、部会間交流で東京部会から杉田孝之先生（津田沼高）が派遣されることが報告されました。

(4) 教材検討では、以下の四本が提案されました。

- a. 教材「アリとキリギリス（時間の経済学）」の報告が埴枝里子先生（府中東高）からありました。今後この教材を生かす方法として、トレード・オフ、機会費用と合わせて経済の導入として使う。市場金利を教えるための手がかりとして、ローンや投資の決定の場面に発展させる前提として使う。経済に興味・関心に向かせる投げ込み教材として使う。の三案がだされ、現場での活用を進めることが確認されました。

- b. 授業案「時間割引率をどう扱うか」の説明が大倉泰裕先生（松戸向陽高）からあり、検討が行われました。時間割引率の授業を行う場合の流れを整理したもので、授業をする場合の三つのバージョンが提示されました。
- c. 授業案「法と経済の授業設計ー私たちの働く在り方を考えるー」の説明が杉田孝之先生からあり、検討が行われました。これは、名古屋部会で提案する予定のものです。授業案としては課題が残るが、生徒にとっては働くことの意味や客観的な理解は大切なので、名古屋部会での検討を踏まえて、さらに教材として完成を目指すこととなりました。
- d. 授業案「効率と公正の考え方をういて望ましい年金制度について考える」の説明が升野伸子先生（筑波大附属中）からあり、検討が行われました。この教材は、筑波大附属中の本年度研究協議会の研究授業での授業案です。討論では、年金制度の理解と図示に関してさらに検討が必要との意見などがだされましたが、年金に対して効率と公正概念で検討させるという点で、大事な問題提起をしており、さらに検討を加えることで完成された教材を目指すこととなりました。

(5) その他情報提供

- a. 升野先生から、筑波大附属中の公民二学期期末考査のテスト問題が紹介されました。
- b. 新井から、先日行われた日本社会科教育学会での発表原稿「中学生はどこまで経済の基本概念を理解できるか」の紹介と学会の様子を紹介が行われました。

今回の部会は、実践報告や授業案が多数提案され、充実した部会となりました。

内容の詳細は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo079report.pdf>

■大阪部会（No. 46）を開催しました。

日時：2015年11月28日（土） 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

内容の概略はまとも次第HPにアップいたします。

【 2 】 イベントカレンダー

*イベントの予定です。

■冬の経済教室 in 東京を開催します（既報）

昨年好評だった、宮尾尊弘先生（筑波大学名誉教授）による経済教室を、

日本取引所グループと共催で開催します。

テーマは、「次期学習指導要綱を先取りする：学習のあり方と『公共』の教え方」で、主体的に学ぶ態度と課題解決型の能力の育成を目指す学習の在り方と、公共経済学を教える方法の二部構成を予定しています。

日時： 2016年1月23日(土) 14:30～16:30(受付開始14:00～)

場所： LMJ 東京研修センター

東京都文京区本郷1-11-14 小倉ビル3階

(JR 総武線 水道橋東口より6分)

内容、参加方法などの詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2016%20keizaikyoushitsu/2016Tokyofuyu/keizaiR.pdf>

■冬の経済教室 in 札幌を開催します(既報)

夏の経済教室の成果を生かした冬の経済教室を、札幌で日本取引所グループと共催で開催します。

大杉昭英先生のアクティブラーニング論、小巻泰之先生の国民所得の解説、埴枝里子先生の授業提案などを予定しています。

日時： 2016年1月30日(土) 13:00～17:00

場所： キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo55 5階 (JR 札幌駅紀伊国屋のビル)

内容、参加方法などの詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2016%20keizaikyoushitsu/2016Sapporofu/yukeizai.pdf>

■年次大会を開催します。

日時： 2016年3月19日 13:00～17:00

場所： 同志社大学 寧静館

内容、参加方法は、決まり次第HPにアップいたしますが、以下のような内容を計画しています。

第一部：新しい経済教育の実践提案

高等学校の現場の先生方から斬新な実践提案をしていただき、エコノミストとの協議を通して教材としての有効性を確認するという企画です。

第二部：高校入試問題を通した中学経済授業の改善提案

最近の高校入試問題には、かなり意欲的なものが出てきています。学校現場では避けられない入試対策を経済の授業改善につなげる道を考える企画です。

* 定例部会のお知らせです。

■ 名古屋部会 (No. 4) を開催します。

日時：2015年12月12日(土) 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟3階 303講義室

名古屋駅より、地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車6番出口より左へ徒歩5分

内容、参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya004flyer.pdf>

■ 東京部会 (No. 80) を開催します。

日時：2015年12月16日(木) 18時30分～20時30分

場所：日本大学経済学部 本館2階中会議室

内容：冬の教室・年次大会の準備、教材検討など。今回は宮尾尊弘先生が

参加予定です。また終了後、納め会を予定していますので開始時間が

通常より早くなっています。参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo080flyer.pdf>

■ 大阪部会 (No. 47) を開催します。

日時：2016年2月6日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト(予定)

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階

内容、参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka47flyer.pdf>

■ 京都部会 (No. 32) を開催します。

日時：2016年1月15日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容、参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto032flyer.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■ 宝くじを教材に

年末ジャンボ宝くじが販売されています。発売当日は、人気の販売場所では何千人と並んだそうです。季節がら、今回は宝くじを使った授業例です。

①まず、宝くじの期待値を計算してみます。

期待値は、新しい学習指導要領では「数学B」で学ぶことになっていますから、すべての高校生が学んでいるわけではありませんが、考え方はそれほど難しくはありません。ただし、きちんと計算するのは大変なので、エクセルなどを使って計算させてもよいし、実際の宝くじではなくモデルで概略だけ紹介してもよいでしょう。また、ネット上では実際の宝くじの期待値計算をした結果が掲載されています。

計算方法の概略は以下のようです。1等、2等…の各等の賞金額と当選確率を掛け合わせて、その合計を求めると購入額（1枚300円）に対してどれだけの金額が払い戻されるかが計算できます。結果は大体50%以下（47から49%程度）で、300円に対して150円弱の金額が期待値となります。つまり、どんなにあがいても、宝くじはお得ではない、ということになります。

②なぜ人は宝くじを買うのだろうか？

ここからが授業の本番です。損をするのになぜ人は宝くじを買うのか、生徒に考えさせます。いろいろな回答がでてくることを期待したいところですが、それは教室の状況によるかもしれませぬ。

一応、外れたとしても大した損ではないからとか、あつた時の大きさ（ジャンボ）、夢（まさにドリーム）にかけてみようと思うというのが期待される回答としておきます。

③どんな人が宝くじを買うのだろうか？

次に、期待が無くとも夢が大きければいいじゃないかと思うのはどんな人だろうかを生徒に聞きます。ここではクイズが良いでしょう。

A：一流企業につとめて年収が1000万円以上ある人

B：ローンをかかえて生活に余裕が無い人

C：その他（生徒にいろいろあげさせても面白いかもしれません）

宝くじを買いそうな人はどちらだろうと聞きます。

これまでのくじに関する実証研究では、Bの人が買う傾向が強いことが分かっています。それはなぜなのかをあらためて考えさせてみてください。

④ここからどんなことがわかり、応用できるか

宝くじがギャンブルだとすると、ギャンブルにはまる人、もしくは多少損をしても夢を追いたい人はどんなタイプの人で、どんな環境にあるかをまとめてゆきます。やはりこれまでの研究では、低所得や社会的に不利な立場にある人が多いということが分かっています。それだけでなく、同じような状況に置かれていても他人と比較して、自分が所得や地位で不利な立場にあるという意識を持っている人、つまり劣等感が強い人ほど勝負にでる可能性が多いんだそうです。本当にそうなのか、吟味をさせてください。

さて、勝負をする人間とそれを回避する人間は、どんな価値観をもっているのでしょうか。

それがどのような経済的な意思決定と関連するのでしょうか。ここからは行動経済学の領域になります。それに関しては順次、紹介してゆくことにしましょう。

ここでは、次のような質問をして、③での質問と宝くじの共通性を確認してみてください。あなたは就活中です。どちらの仕事を選びますか？

A：毎月 20 万円が確実に入るけれど、それ以上にも以下にもならない仕事。

B：成果主義賃金で、成績が良ければ 30 万円、悪ければ 10 万円の収入しかない仕事。

成績の確率は 50%（五分五分）である。

自分だったらどちらを選ぶかを聞いてもよいし、日本の社会がどちらの方向になっているか、それが私たちにどんな影響を与えているかという話題に発展させてもよいかもしれません。

なお、期待値に関しては、新井紀子さんの『生き抜くための数学入門』理論社 YA 新書が数学の立場から、中高生向けに宝くじの期待値の計算をしています。学校図書館には入っている本でしょうから、参照してください。

経済学関係では、例えば伊藤秀史さんの『ひたすら読むエコノミクス』有斐閣をはじめとして多数ありますので、どれでもお好きなものを手に取って参考にしてください。（新井）

【 4 】編集後記（みみずのたはこと）

11 月 13 日に起きたパリのテロ事件は、正直びっくりでした。犠牲になった人々をお悔やみするとともに、テロを許せないという気持ちがわいてきます。でも良く考えると歴史的なツケが回ってきたとも言えるし、フランス社会の構造なども関係しているのかと思わせるものもあります。ポール・ポーストの『戦争の経済学』ではテロの費用便益分析が行われています。このような分析がテロを防ぐことができるか、経済学の知見が問われる問題でもあると感じます。（新井）

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇